

月刊 社会保険 7

2022 VOL.864

一般社団法人
全国社会保険協会連合会



肝炎総合対策の推進について —肝炎に関する正しい知識を身につけて、早期発見・早期治療を—
第95回 全国安全週間について
7月は「愛の血液助け合い運動」月間です。
風しんに関する追加的対策
令和4年度「働き方改革推進支援助成金」勤務間インターバル導入コースのご案内
中小企業活性化協議会とは

肝炎総合対策の推進について —肝炎に関する正しい知識を身につけて、早期発見・早期治療を—	4
第95回 全国安全週間について	8
7月は「愛の血液助け合い運動」月間です。	10
風しんに関する追加的対策	12
令和4年度「働き方改革推進支援助成金」勤務間インターバル導入コースのご案内	14
中小企業活性化協議会とは	16
労働法のポイント 第3回 労働安全衛生法上の一般健康診断 監修/社会保険労務士法人SKMオフィス	18
年金・健康保険委員活動報告 社会保険委員会の活動から学ぶ 静岡東海証券株式会社 取締役総務部長 鈴木 規泰	20
新たな時代の働き方改革 —AI分析でわかった トップ5%社員に共通する習慣 第3回 トップ5%社員が行う「会議ファシリテーション」 株式会社クロスリバー代表取締役社長 越川 慎司	22
書評 小川 幸司・成田 龍一 編/「世界史の考え方」—シリーズ歴史総合を学ぶ①	24
企業との協働がもたらすもの —“がん患者”から“生活者”支援へ 第3回 企業による「がん治療と仕事の両立」支援が多様性のある社会づくりにつながる アフラック生命保険株式会社 NPO法人がんセンターリボンズ 編	25
認知症を予防する⑤ 第3回 絶食と運動の組み合わせでケトosisを誘導 お茶の水健康長寿クリニック院長 白澤 卓二	28
社会保険Q&Aシリーズ 健康保険編 30/年金保険編 32/介護保険編 34/労働保険編 36 特定社会保険労務士 鈴木 ひろみ	

表紙写真・竹内敏信事務所/イラストレーション・水森亜土/デザイン・編集協力・(有)フェイム/印刷・(株)エイエヌオフセット

表紙のことば——照る日・曇る日「野に咲く」

群馬県/高崎市



初夏になると虫たちが騒ぎ出し、草花や木々は生き生きとしてくる。森に入ると野鳥や虫の鳴き声、風の音、水の音など、自然が奏する美しい音色を聞くことができる。

それだけでも癒され、気持ちが落ち着くものである。人はなぜ自然を見ると心が穏やかになるのだろうか。太古の時代は現代よりも自然と共存して暮らしていた。

人間の本能から自然を求めるのではないだろうか。

写真/竹内敏信 文/TAフォト&サウンドオフィス

© 本誌制作にあたっては、国等からの補助金等を一切受けておりません。

社会保険委員会の活動から学ぶ



静岡東海証券株式会社 取締役総務部長

鈴木 規泰

●地域紹介

静岡県静岡市は、葵区・駿河区・清水区からなる政令指定都市です。東京と名古屋のちょうど真ん中に位置しており、新幹線を利用すればどちらからも1時間程度で訪れることができます。温暖な気候に恵まれ、北は自然豊かな南アルプスから南には海が広がり本場に自然と都市空間が融合した住み心地の良い街です。海の幸・山の幸がどちらも堪能できる食文化もまた自慢の一つです。静岡独自の「静岡おでん」は、ソウルフードとして全国でも有名です。産業では、「ホビーの街」としても知られており、プラモデルメーカーが多数あることも知っていたきたいポイントです。

●会社紹介

私が勤務する静岡東海証券は、本社が静岡市葵区にあり、対面営業に特化した地場証券です。昭和19年に設立し77年の歴史があります。静岡県内に静岡市をはじめ沼津、富士、藤枝、掛川、浜松の各市に店舗を配置し、それぞれの地域の皆様に愛され、

選ばれる、資産管理の良きアドバイザーであることを目指し活動しております。当社の強みは、ほとんどの社員が県内出身者であり、お客様の資産管理に生涯お付き合いできることです。インターネット取引ではなくお客様との対話を重視し、お客様のニーズに応えられるよう日々自己研鑽をしながら活動しています。

●年金委員・健康管理者として

私は、現在、静岡社会保険委員会会長ということで活動をさせていただいておりますが、正直なところ私がどれだけ社会保険制度に精通しているかというところ全く自信はありません。今から23年前、私は当社の営業課長として掛川支店で勤務しておりました。そこへ、当時の総務部長がやってきて「本社の総務部へ異動だ」と一言。そこから、私の社会保険との関わりが一変しました。異動先では、当時の総務課長が退職することから少ない期間での引継ぎを余儀なくされ、結果的には、初めて聞く言葉などと悪戦苦闘し、独学やいろいろな人に聞きながら業務を覚えていきました。自分は、当時30代で年金とかにつ

いて関心があったかというところでもなく、事務作業をこなす意味での関わりでありました。しかし、様々な社員の手続きをしていく中で定年に近い社員や退職した社員等から年金のことや社会保険制度について質問を受けるたびに一旦待ってもらい、当時の静岡社会保険事務所（現静岡年金事務所）に「わからないので教えてください。」と一から教えてもらったことが思い出されます。丁寧に親切に教えていただいたおかげで自分でも覚えることができました。その時に冷たくされていたら、きっと業務の取り組み方も違っていただろうと思います。本当に感謝でした。また、そういった社員からの質問に自力で答えられるようにと社会保険セミナー等へも積極的に参加しました。だからこそ、社会保険委員会の活動に積極的に飛び込んでいったのは、何を隠そう、いろいろな人に出会って知識を吸収しようと思ったからです。それまでの事務作業から、社員にとっての社会保険という観点から業務に取り組んでいったことが懐かしく感じられます。

その中でも、社員の年金知識の向上と健康管理という2点を重点にお

きました。年金知識については、社員が自身で自然と覚えてもらおうと社内ホームページや資料を使って展開しました。私が総務部に籍を置いてからこれまでに、業界の厚生年金基金の解散、確定拠出年金の導入、退職金制度を確定給付企業年金へ移行など様々な業務に直接携わる機会があり、社員にどう伝えるかを含めて年金制度の発信をすることができました。また、社員の健康管理については、メンタルヘルスも含めて、現在も試行錯誤を繰り返しているところであります。当社は、健康保険について平成15年に「協会けんぽ」から業界の「健康保険組合」へ移行しました。それまでは、自分が営業店にいる時もそうでしたが、従来の健診を踏襲し、簡易な健康診断を事務的に進めていた感じでした。健保組合への移行と同時に、健康診断の委託契約施設を営業店ごとに決めてほしいと健保組合から要請がありました。当時はまだ、静岡に拠点を置く証券会社が健保組合へ入ることが初めてであったため、各店舗と相談しながら6カ所の委託契約施設の病院が決まりました。これにより受診率がアップしたことや、社員の健康管理のチェックを徹底で

きたため再検査についても社内業務中でも行きやすくするなど、フォローしたことにより病気の早期発見、早期治療が可能になってきました。現在は、年齢に関係なく診断項目も増やし、受診する月を社員誕生日に設定するなど、全社員の受診を徹底しています。さて、健康管理者として本場に恥ずかしいことなのですが、私は2年前の勤務中に腹部動脈瘤破裂という思いがけない事態に陥りました。緊急手術と入院を2カ月ほどすることになりました。幸いにも一命はとりとめました。健康診断の際に「コレステロール値が高い」「血圧も高めだ」と注意されていたものの、食生活も先生のいうことを守らず、経過観察だったため、大丈夫だと思っておりました。今は、この経験を教訓として健康診断の重要性を社員に訴えており、再検査の受診は何があっても病院に行ってもらおうようにしています。また、思わぬ副産物ですが、自分の手術、入院によって皮肉にも高額医療費のことや、限度額認定証の手続きなど、いろいろなことを自身でしっかり理解することができました。いかにこういった制度が支えに

なるかということも実感できました。今では、事務を担当している総務部のスタッフからタイムリーにまたスピーディーに社員が困る前に、社会保険制度の活用をアドバイスできているような気がしています。

当社の業務である地域の皆様のライフプランナーとして、年金制度や社会保険制度も税制や商品知識などと併せてトータルでお客様へのアドバイスするための重要なアイテムといえます。今後は、社員が業務にも生かせる知識の習得、社員自身の健康管理をケアできるように、この2点をひとつと社員に浸透させるように重点として取り組んでいくことができます。と思います。

社会保険委員会の活動においては、23年前に総務を担当したばかりの自分だったら、「どのような企画・セミナーが必要だったのか」どんな情報・知識

が知りたかったのか」と振り返りながら活動を進めていければと思っています。

●おわりに

日頃より、委員会活動にご協力いただいております静岡年金事務所をはじめとした皆様並びに静岡県社会保険協会及び関係諸団体の皆様に感謝申し上げますとともに、全国の委員の皆様のご健勝とご活躍を祈念申し上げます。活動報告とさせていただきます。

（静岡社会保険委員会会長



静岡東海証券株式会社